

ハウスびわを加害するリン翅目害虫						
〔要約〕 <u>ハウスびわを加害するリン翅目害虫としてオオタバコガ、チャハマキ、キバラケンモン、ヒメシャクガの一種、ドクガの一種、シャクガの一種がある。</u>						
長崎県果樹試験場・病害虫科	専 門	作物虫害	対 象	果樹類	分類	指 導
平成4年度長崎県果樹試験場業務報告						

〔背景・ねらい〕

近年、ハウス栽培の増加にともなって、従来、露地栽培では発生がみられなかったリン翅目害虫が発生し被害を与えている。しかし、ハウスびわに寄生しているリン翅目害虫については未解明である。そこで被害の様相とその種名を明かにする。

〔成果の内容・特徴〕

葉を食害するリン翅目害虫としてキバラケンモン、シャクガの一種がある。果実を食害するリン翅目害虫としてオオタバコガ、チャハマキ、キバラケンモン、ヒメシャクガの一種、ドクガの一種がある。いずれの種も花～幼果を加害する。

これらのリン翅目害虫のなかで、オオタバコガの発生が最も多く、多発生圃場もある。

〔成果の活用面・留意点〕

これらのリン翅目害虫に対して登録薬剤はないので、びわの他の害虫に登録のある殺虫剤によって同時防除を行う。

[具体的データ]

表1 ハウスびわを加害するリン翅目害虫²の被害の様相

加害部位	害虫名	幼虫の形態及び被害の様相
葉	キハラケンモン	体長5cm、黒色で灰白点があり、背面側腹は褐色を帯びる。刺毛が多く、いわゆる毛虫である。新葉をその周辺から食害する。摂食量が大きいため新梢が丸坊主状になる。
	シヤクガ ¹ の一種	体長5cm、灰色でいわゆるシヤクトリムシである。新葉をその周辺から食害する。
果実	オオハコガ	体長4cm、体色は緑色から茶褐色まで変化がある。果実に穴を開け、内側に入り食害するのが特徴である。
	チャハマキ	体長2~3cm、やや暗緑色を呈する。果房の間に糸を張り、その中で果実を食害する。
	キハラケンモン	体長4cm、黒色で灰白点があり、背面側腹は褐色を帯びる。刺毛が多く、いわゆる毛虫である。
	ヒメシヤクガ ¹ の一種	シヤクトリムシの一種で、体長1cmで黒褐色である。花の中に入り、内部から食害する。
	トクガ ¹ の一種	体長4cm、黒色で背面は黄色である。側腹は黄色で赤い斑点がある。刺毛が多く、いわゆる毛虫である。

² いずれの種も農林有害動物・昆虫名鑑(1987)に未記載

[その他]

研究課題名：ビワ病虫害に対する効率的防除法の確立試験

予算区分：県単

研究期間：平成4年度

研究担当者：早田栄一郎、大久保宣雄

既発表論文等：平成4年度長崎県果樹試験場業務報告

残された問題点：未同定の種を明らかにする。発生生態の解明及び防除対策の確立